

平成17年6月期 レーダー級海上特殊無線技士試験問題

法規 12問 } 24問 1時間
無線工学 12問 }

法

規

(注) 解答は、正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入(マーク)してください。

- 〔1〕 次の記述は、電波法に規定する「無線局」の定義であるが、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「無線局とは、無線設備及び の総体をいう。ただし、受信のみを目的とするものを含まない。」

1. 無線設備の操作を行う者
2. 無線設備の操作の監督を行う者
3. 無線通信を行う者
4. 無線従事者

- 〔2〕 再免許を受けた無線航行移動局の免許の有効期間は、次のどれか。

1. 無期限
2. 5年
3. 4年
4. 3年

- 〔3〕 次の記述は、船舶に設置する無線航行のためのレーダー(総務大臣が告示するものを除く。)の条件に関する無線設備規則の規定であるが、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「その船舶の航行の安全を図るために必要な音声その他の音響の聴取に妨げとならない程度に が少ないものであること。」

1. 騒音
2. 内部雑音
3. 機械的雑音
4. 電氣的雑音

- 〔4〕 無線従事者が免許証を失って再交付を受けた後、失った免許証を発見したときにとらなければならない措置は、次のどれか。

1. 発見した免許証を速やかに廃棄する。
2. 発見した日から10日以内にその旨を届け出る。
3. 発見した日から10日以内に発見した免許証を返納する。
4. 発見した日から10日以内に再交付を受けた免許証を返納する。

- 〔5〕 無線従事者は、無線通信の業務に従事しているときは、免許証をどのようにしていなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 通信室内の見やすい箇所に掲げる。
2. 通信室内に保管する。
3. 無線局に備え付ける。
4. 携帯する。

- 〔6〕 レーダー級海上特殊無線技士の資格を有する者が行うことができる海岸局、船舶局及び船舶のための無線航行局の無線設備の操作の範囲は、次のどれか。

1. レーダーのすべての技術操作
2. レーダーの外部の調整装置の技術操作
3. レーダーで電波の質に影響を与えないものの技術操作
4. レーダーの外部の転換装置で電波の質に影響を及ぼさないものの技術操作

法

規

〔7〕 次の記述は、秘密の保護に関する電波法の規定であるが、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

「何人も法律に別段の定めがある場合を除くほか、特定の相手方に対して行われる無線通信を傍受してその を漏らし、又はこれを窃用してはならない。」

1. 存在若しくは内容
2. 相手方及び記録
3. 通信事項
4. 情報

〔8〕 臨時検査（電波法第73条第4項の検査）において検査されることがあるのは、次のどれか。

1. 無線従事者の知識及び技能
2. 無線従事者の資格及び員数
3. 無線従事者の勤務状況
4. 無線従事者の業務経歴

〔9〕 無線航行移動局に備え付けておかなければならない書類は、次のどれか。

1. 免許状
2. 無線測位局の局名録
3. 無線従事者選解任届の写し
4. 電波法及びこれに基づく命令の集録

〔10〕 無線従事者の免許を取り消されることがある場合は、次のどれか。

1. 引き続き6箇月以上無線設備の操作を行わなかったとき。
2. 日本の国籍を有しない者となったとき。
3. 電波法に基づく処分に違反したとき。
4. 免許証を失ったとき。

〔11〕 電波法の規定により、免許状を1箇月以内に返納しなければならない場合は、次のどれか。

1. 無線局の運用の停止を命ぜられたとき。
2. 免許状を破損し又は汚したとき。
3. 無線局の運用を休止したとき。
4. 免許がその効力を失ったとき。

〔12〕 再免許を受けた無線局は、従前の無線局の無線検査簿をどのように取り扱わなければならないか、正しいものを次のうちから選べ。

1. 旧免許状とともに返納する。
2. そのまま継続して使用する。
3. 新たなものに取り替える。
4. 1年間保存する。